

# ほたるパーク周辺開発事業 町民説明会 @山吹区

## 会議記録

日 時 令和4年7月20日(水) 19:00～ やすらぎ荘

出席者 参加者 52名

町 壬生町長・三沢建設課長・岩崎建設課課長補佐・久保田教委局長補佐  
・宮内係長・主査高田

---

以下、会議内容

---

### 【区長あいさつ】

#### 山吹区長 小平 純一 様

これまで山吹区としてどう考えてきたか。地元青少年の健全な育成、ホテルパークの積極的な活用ができるのであればいいのではないか。出来ることなら南信全体を見たときに、長い間利用していけるいいものを作ったほうがいいということをお願いしてきた。

ほたるパークは阪神淡路大震災の後、多目的広場として広い避難エリアを確保。国の予算もあって、平成16年ごろに山吹区が中心となって用地取得したいと提案し、全体の20%を区の費用、80%を国などの補助で取得した、となっている。

それ以降ほたるパークとして年一回のほたる祭り、草刈りや砂利敷き、排水の工事を実施、トイレの改修や清掃などにより維持してきた。年一回のほたる祭りだけでなく、スポーツ文化の醸成など、もっと活用されるものにしていけるのであれば前向きなものではないかということで考えてきた。ぜひ中途半端でないものを作ってほしいと思っている。

ダイエー南側を多目的広場として使用していくことについて詰めているところ。区会の中に特別委員会を設置し検討を進めてきた。役場に地域デザイン係が設立したこともあり、互いに知恵を出し合って進めている。山吹区としては知恵を出し合って、できればいいものを、利用しやすいものを、町民のためになるものを、と願っている。

### 【町長あいさつ】

#### 壬生 町長

経過はこれまでに説明をさせて頂いてきたとおり。山吹区に町としてサッカー場の建設をお願いしてきており、今週末にはクラブハウスの入札も始まっていく状況であり、これからサッカー場がどういうものになるかご説明させていただく。

上平の皆様などからこの地域の開発の要望をいただいたり、かわまちづくり計画を進めたりしている。もしかしたらサッカー場という話が突然出てきたと感ずるかもしれない。南信エリアにサッカーコートが1枚も無いと、私が町長になって以降、県サッカー協会から説明があった。当初はかわまちづくりの敷地内にと要望を頂いていたが、町の計画と国の防災ステーションの計画うまくいかなかった。たまたまパチンコ店の閉店や周辺地域の課題があったことを踏まえて、区に提案し地域の皆様へ説明をさせていただいてきた。

サッカー場の基本設計ができたこと、近頃の物価高により予定費用が大きくなっていることから、皆様に説明しご意見を頂戴したい。町の財政状況が心配な方もいるかもしれないが、町の将来負担比率、実質公債費比率は劇的に改善してきている。基金の積み立てや返済を進め、努力をしてきた結果。これからリニア開通に向けて山吹地域が人口減少を食い止めて、いろんな面で発展していくことを目指す。ぜひ皆様にご理解をいただきこの事業を進めていきたいと思っている。説明を聞いていただきご意見をいただきたい。

#### 【説明事項】（別添資料）

#### 【意見交換】

##### ■参加者

前回説明会資料と比べ、事業費が高くなっていることへの説明が欲しい。また今回は収支見込みがあったが今回はついていない。毎年370万円の持ち出しがあるとなっていたがその費用はどこから出るのか。ほたるパーク周辺の開発というのはどこまでのことを言うのか。1回目の説明の時は「サッカー場を検討してもいいか」「パチンコ屋の立ち退きは分かっているが交渉はこれから」という内容の説明だったが、翌日の報道では「サッカー場誘致」というものだった。今いろいろ話題になっているが、ここに舟券売り場が入るという計画があったが、町が買い取ったことで別の場所で計画されることとなった。町がこの地域には公営ギャンブル場は不要と回答していれば現在の状況はなかった。舟券売り場は1,000件くらいの誘致の話があるといっているが、それをあえて蹴ってここで計画している。バラバラに話があるのでよく分からなくなる。ほたるパーク周辺開発とはどこまでなのか、かわまちづくりなども含め一つ一つの事業のつながりについて説明してほしい。

#### ⇒事務局

約2億円の増加については、主な理由は工事費の増加。当初は基本計画に基づくアバウトな金額であったため、詳細な部分まで拾えてないものがあつたことも事実。また、サッカー関係者とのヒアリングでいろんな要望を頂く中で、仮設予定だった観客席を常設のものに変更したり、照明をLEDのソーラー照明にしたりなど。人工芝も公認を

とるということで、耐久性の高いものを取り入れたいこと。雨水対策として雨水を貯留する機能を設けるなど。基本計画では見えてこなかったものもある。

また、収支見込みについて、利用料やランニングコストなどは、共同検討者がどのような計画をしていきたいのかを聞きながら収益を見込んでいきたい。あえて今回は予想でお示しはしていないが、今後は研究をしていきたい。前回示したものは予測的なもの。今後具体的な利用形態に基づいて計画し、皆様にお示ししていきたい。

そもそもの資材の値段が上がっているのが大きい。一番金額が大きくなっている原因はこの部分。工事では資材が高くなれば経費も増えてしまう。マイクロプラスチックを飛散させない施設や流出しない貯留施設、フィルターにもかなり費用がかかっている。LED 光量の調整によるほたるへの配慮なども。

収支については、まだ利用料が決まっていない。前は1時間3,000円で試算していた。現状では他の社会体育施設では利用料を取っていない。この施設だけ利用料をいただくことが本当によいのかも含め詰めていきたい。どこから町の持ち出し分を負担するかといえば町の一般会計からとなる。持ち出し分は利用が少なければ増えていく。町民利用を無料にすれば増えていく。そういった試算が現状では難しい。個人的には町民利用は無償としたい。逆に町民でも有料にするのであれば他の社会体育施設も検討しなければならないと思っている。

事業計画地はダイエーパチンコ店とその駐車場及びほたるパークのみ。

かわまちづくりとの関係性。まだ全体企画をお示しできる状態ではない。県力又協会や県ビーチバレー協会から長野国体競技地を受けてほしいという要望があり、かわまちづくりの敷地内でビーチバレー、天竜川でカヌースラロームとワイルドウォーターを予定している。それに向けて準備を進めている。スポーツを通じてサッカー場と連携していくのが一番いいと考える。

舟券売り場について、情報は地権者の皆さんと金融機関からもらった。この場所では土地利用もよくない、上平河原の利用の要望から考えてもこの場所には良くないという判断。地権者とも協議し、山吹区や議会などに計画を説明させていただいてきた。直接断ればいいと言われるが、直接断るタイミングがあったか無かったかを察して頂きたい。その後の計画が出てきたということは、地権者と近隣の皆様がある程度の同意があったことでこういった計画が出てきたとお聞きしている。そういった状況となったので、皆様にお知らせするために4月に議会の皆様へ状況をお伝えしたという経過。

## ■参加者

周知の仕方が悪い。地元である山吹区が最初というのは良かった。現状回覧版が全戸回りにきいてない。事前の常会の場での周知が必要では。上平の方々は説明を聞いているかもしれないが、同じ山吹区でもそれ以外の地域では温度差があるのを少しでも解消するよう情報

を広く開示することをお願いしたい。

⇒事務局

周知が遅れたとすればお詫びする、周知に努めてまいりたい。

■参加者

施設の運営の共同検討者、現状1件の提案とあるが、1件だけであればそこで決まるのか。

⇒事務局

これから審査会を実施。提案が1社であっても、その会社が共同検討をするのにふさわしい企業かどうかは審査したうえで決まる。その1社が審査の結果、だめになる可能性もある。

■参加者

サイレントインベション。海外の方がいろいろ買っていく。せっかく作ったものがそういった方に運営されるのは怖い。どういう方が運営するかが一番重要な部分。しっかりと審査をお願いしたい。

⇒事務局

高森町に縁があったり地域のことを理解してくれている方で、サッカー場運営の知識がある方を求めている。外資の企業を入れることはまったく考えていないし、そういった募集になっている。

■参加者

収支見込みは指定管理者との話し合いで固まってくるとの事。過去の町の事業では、蘭植物園、湯が洞の時は、意見を言っても「大丈夫」という回答だった。なるべく魅力のあるものにしてもらって利用頻度を上げる。町内利用が無料であれば、収支の上では外部の方にも使っていただけるように考えてほしい。

⇒事務局

一般財源がなしで運営できる施設ではないので必ず町から経費を払っていくことになるが、縮減する努力をしていく。この規模で作れば南信にひとつしかないもので、かなりの利用となることが予想される。土日夜間はどう予約を入れるかという状況になる。そうした中で利用料をどう賦課していくか。ここはあくまで文教施設で子供たちの将来を担うためのもの。町の財政状況の負荷にならないようきちんと財政計画を立てて

いく。

■参加者

人工芝の長所と天然芝の短所をあらためて聞きたい。

⇒事務局

作る費用は天然芝の方が安く、管理にかかる費用は人工芝の方が安い。天然芝は養生期間があって使えない期間が生まれるが、人工芝は通年使える。

■参加者

マイクロプラスチックの事がずいぶん言われている。日に当たると劣化すると思う。子どもも大人も吸い込んでしまう。夏は温度が上がる。お金がかかるかもしれないが天然芝がよいのでは。どうしても人工芝なのか。

⇒事務局

ゴルフ場や飯田松尾グラウンドなど、天然芝への化学肥料や除草剤を散布する。天然芝が健康にいいとは言い切れない部分があるということも含めて検討し人工芝を選定したことをご理解いただきたい。

■参加者

農薬や肥料は解決策があるのでは。プラスチックが体に入るのは良くない。天然芝を強く要望する。

■参加者

排水路の付け替え。沈砂層を1つつけるという話だったが。

⇒事務局

現状の三面張りの水路には砂がたまるので、新たな水路をつなぐ柵に沈砂層をつける。

■参加者

人工芝と天然芝の件。ごく最近、川路のサッカーグラウンドは子供が自ら芝生を植えた。今日の説明会には、練習や指導に行っておりサッカー関係者の出席者もない。この大事な説明会に来ないくらい冷めているのでは。子どもたちがほしいと言っているのではなく、町の都合で話が進んでいるのでは。

#### ⇒事務局

スポ少サッカー部員、中学サッカー部、スポ少保護者、スポ少指導者、また各学校と何度も懇談し、ご意見ご要望をお聞きして今回の設計している。南小や北小の児童にも紹介し意見をもらっている。

#### ■参加者

多目的広場について、将来的には南側からも入れるようにするとの事。先日ほたる祭りがあったが、奥に行くとなりづらくなるような気がした。また、具体的な設計に入るということに賛成した。その設計を見て、やるかどうか決める場があると思っていたが、やることに関する説明会となっており、すでに事業が進んでいることにもやもやしている。議会で決まれば民主的かもしれないが、サッカー場のテーマがあって選挙をしたわけではないし、町民全体で賛成して進んでいるかが疑問。個人的な見解は、なくてもいいけど皆さんが賛成で作るのであればいいものを作ってほしいという考え。

#### ⇒事務局

この事業を進めるにあたって設計を進めたいという理解を得てきたつもり。事業を進めないのに設計には入らない。山吹区への説明会では、事業を進めていくことに同意をいただけるかという説明会を開いた。2月の全町向けの説明会においても、こういった計画で進めさせていただきたいと話をさせていただいた。

事業の可否については同意を求める手続きはしてきたつもりで、お知らせすることについても広報やメディアを使って実施してきたという認識。行き届かなかったとすれば、どういった方法であれば全員の皆様に賛成反対をお諮りできるのかご提案をいただけるとありがたい。

#### ■参加者

説明会という名称だったこと。賛否をとるという場ではなかったという認識。賛成反対の意見を言える場であったならよかったと感じる。

#### ⇒事務局

事業の可否をとることは難しいと感じる。町がどういう方向性で進めていくかをお示し皆様がどう思うのかをお諮りするのが説明会という名称がよくないと思うので気を付けさせていただきたい。

#### ■参加者

高森町ひとつで抱えるには大きな事業。南信にはサッカー場がないことから、北部 5 町

村や下伊那などで運営できる場にできるのがよいのでは。あと、JFA 公認でも J3 の試合はできないのか。

⇒事務局

広域での施設運営をすることについては賛成。同じ施設を隣町で建てたからここでも建てるということであればどうかと思う。広域の中で負担金をいただけないか調整をしたいと思っているが、広域連合では、たくさんの署名をいただいたアリーナの調整もできない現状。ものを分散させることについて、サッカー場ができることで、ラグビー場や天然芝が必要になってくれば、また高森で受けるのではなくて 5 町村で分散するなど、5 町村全体で発展していく必要がある。同じような施設をそれぞれ持ち合うのではなくどこかに集約していくことも、いろんな形で検討している。

J3 以上の場合、収容人数の問題で公式戦の開催はできないが、選手が来てサッカー教室を開催したり、ユースチームの練習や練習試合での使用は可能。

■参加者

県内のほかの施設を見ても、日陰を作るものがないが、暑くなっている中で無くてよいのか。

⇒事務局

予定の観客席の 3 段目はテントを張れるくらいの幅がある。選手や応援はここも活用できる。周囲にも余地をとっているので、参加チームそれぞれで用意するテント設置できる。自然な日陰はない。熱くならないような仕上げに。

■参加者

以前の資料では植栽があった

⇒事務局

落ち葉などが人工芝に悪影響。またプレーにも影響するとのことから無くした。周りに立ち見やテントが張れる場所が欲しいという要望をもとに計画している。

■参加者

ベンチの素材は。熱くならないものが良いのでは。

⇒事務局

長いベンチがあり、3 段目には普通のテントが張れる。熱さ対策や素材は費用からも

よく検討したい。

#### ■参加者

農集排処理場の周りのフェンスは撤去するのか。現在トラクターを西側の水路で洗っているが、尾地クリニックの横のアクセス道路、現在の道路より狭いと思うが大型バスが通れるのか。

#### ⇒事務局

アクセス道路は6m幅を確保。フェンスは農集排処理場の多目的広場側のフェンスは撤去するが、それ以外はそのままの予定。ご要望については個別に話を聞いて対応したい。

#### ■参加者

個人の発言としてお聞きいただきたい。初めてサッカー場の話聞いたとき、すごく面白いと感じた。この事業は高森町だけでなく、飯田下伊那上伊那までの大きな視野で考えるべき。またJ3、J2の松本山雅の拠点になると思う。この場所をルーツに世界で活躍する選手がここから出てくればすごくうれしい。概要説明を聞いたときがっかりした。なぜダイエー店舗を買い取らなかったのか。将来の子どもの為にもしっかりとお金をかけてやるべき。蘭植物園の二の舞にならないように。計画を聞いて12億円くらいかかると思った。結局建物を除いて10億円となった。問題はこの壮大なプロジェクトを、採算が取れない、町の財政圧迫、もっと他にやることがあるなど、縮小取りやめさせる動き。もとより採算事業ではない。議会全員協議会で決定したこと。これは地域を代表する町議会による決定であるので民意である。反対の立場だった議員にも全力で協力してほしい。

年間経費と建物賃借料で年間10,000,000円など会計は多難。協力とは資金的援助と考える。もし多目的広場の山吹区に対する委託管理料などが発生するなら、山吹区は受け取らないでほしい。多目的広場を主に利用させていただくが、他の地域の方の理解を得るためにも山吹区も協力すべき。

わが社は高森町に年間15,000,000円余りを提供できるので、それで経費等を相殺してほしい。

事業を進める町長へエールを送りたい。

#### ⇒事務局

いろんな皆様のご意見がある。この施設に関しては、若い世代やお母さん方など前向きな方がすごく多い。そういった皆様が説明会に来ていただけない現状が残念ではある。何とか実現をとの声もある。何とか実現に向けて動いてまいりたい。



## 【閉会】

### ⇒壬生 町長

誤解を生むような事業になっていること自体が町の手続きの悪さがあることを反省する。コロナ等で十分な説明会や意見交換会が開けず、十分周知を図ったつもりであったがなかなかご理解いただけないことがあったということであれば、お詫び申し上げるとともに、今後そのようなことがないよう努めて参りたい。

私の選挙の際、この話題を大きく出した。かなり若い方や小さい子を持つお母さん方と懇談の機会も設けた。この施設に関しては夢を抱いていただき実現を望む声も多くいただいた。そうした中、色んな判断のうえ事業を提案させていただき、議会にもすでに一部の事業は議決をいただいて、そうした中でこういった意見を頂くということは私の手続きの悪さがあったと思う。

声を上げていただくことは大事なことだが、なかなかこういった場に来ていただけていない皆さんに、来ていただいて意見を出していただく。そういった環境を整えていかないと、この先どんな事業をやっても同じ事になってしまう気がしている。今日お越しの皆さんは其中でも率先して来ていただいた皆さんで、それぞれのご意見をお持ちであるので、そちらはきちんと受け止める。ご家族や同居の若い方、同居されてなくてもそういった方に、こういう場所に行って意見を伝えることも大事なことだとお話しただけるとありがたいと思う。

本日いただいたご意見も参考にし、最終的には詳細設計に入っていくので、是非ご理解とご協力をお願いしたい。